

【メッセージ項目に関する表記について(凡例)】

一覧の説明

見出し	項目の意味など	備考
通番	各メッセージの中での項目連番(メッセージ単位で一意)	
No.	各項目名ごとにユニークに付番した番号(全メッセージで一意)	
Lvl.	メッセージの項目グループの階層を表す。 上位のレベルから、順に1, 2, 3, 4と付番。 下位の階層は上位の階層に対して、階層キー単位に複数のデータセットを繰り返して持つことができる。	※メッセージ利用ガイドラインP56参照
名寄せ項目名	データ項目の名称(日本語名称であり、スキーマ上で表現される名称とはことなる)	
必須、任意	M(必須): 入力が必要であることを示す。 O(任意): ユーザ企業が入力するかどうかを選択可能なことを示す。	
タイプ	数字: 数値型データ 数字(小数点以下n桁有り): 小数点以下データを含む数値型データ 文字: 全角文字型データ 英数カナ: 半角英数カナ型データ 英数: 半角英数型データ(カナは含まない)	
データ型	Amount: 金額。小数でもよい。通貨単位をつけられる。(マイナス値となる場合には、-100のように表現) Code: 物事の性質等を短い文字列であらわすコード。コードリストに掲載されているコードを使う。 Date Time: 日付、時刻。記述方法はISO8601に準拠。Date、Timeそれぞれだけでもよい。 Identifier: 具体的な事物を一意に特定するための識別子(ID)。コードリストに掲載されていないコードで特定の企業、店舗、場所、商品などを特定する際に使う。 Numeric: 単位のつかない数値。 Quantity: 金額以外の数量。小数でもよい。単位(個、枚、箱など)がつけられる。 (マイナス値となる場合には、-100のように表現) Text: 文字列(名前や説明文等)。	
桁数(文字数)	データの桁(文字)数、全角データの場合も1文字は1桁。	
桁数(固定/可変)	桁数が固定桁数であるか可変桁数であることを示す。 固定桁数の場合は数値型データ項目の場合は前ゼロ、文字型データ項目の場合は後ろスペースで固定桁数とする。	
マイナス値の可能性	EDIデータ上で実際にマイナス値が発生する可能性があるかないかを表す。 発生する可能性のある項目は、「有」で表現。	※メッセージ利用ガイドラインP45参照
コードリスト	コードリストの番号を示す。	
項目の意味	各メッセージ項目の意味、用途、使われ方などを示す。	
修正点	前バージョンからの変更内容を示す。	暫定。確定時には削除